

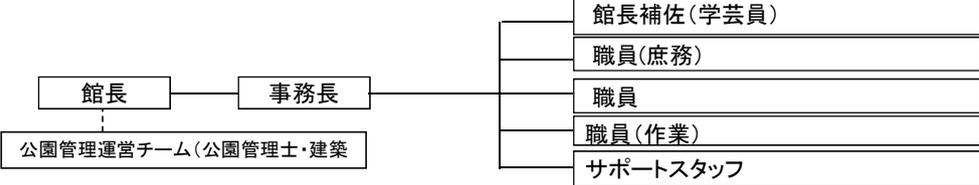
令和4年度指定管理者運営状況検証シート

1 施設名等

令和5年3月31日現在

施設名 (設置年月日)	道後公園 (明治21年6月26日)(平成14年4月1日 リニューアルオープン)	所在地 電話 H P	愛媛県松山市道後公園 089-941-1480 http://www.dogokouen.jp/index.html
県所管課	土木部道路都市局都市整備課	指定管理者の名称	コンソーシアムGENKI
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	利用料金制	○ あり なし

2 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	県民の憩い、安らぎの場とするとともに、湯築城跡を復元、保存、活用することにより中世の歴史を学べる施設として設置	施設の外観 
施設内容	主要施設 ○管理棟(資料館)1棟 271.00㎡ ○復元武家屋敷2棟 160.88㎡ ○土塁8カ所 約120m ○土塁展示室 57.08㎡	
指定管理者が行う業務	①運営に関する業務 ②愛媛県立都市公園条例第6条の規定による公園の利用の禁止又は制限に関する業務 ③利用の許可に関する業務 ④利用に係る料金の收受に関する業務 ⑤利用者への便宜の供与に関する業務 ⑥利用の促進に関する業務 ⑦施設、附属設備及び備品の維持管理に関する業務 ⑧その他知事が定める業務	
施設の管理体制		

3 検証のための指標の推移

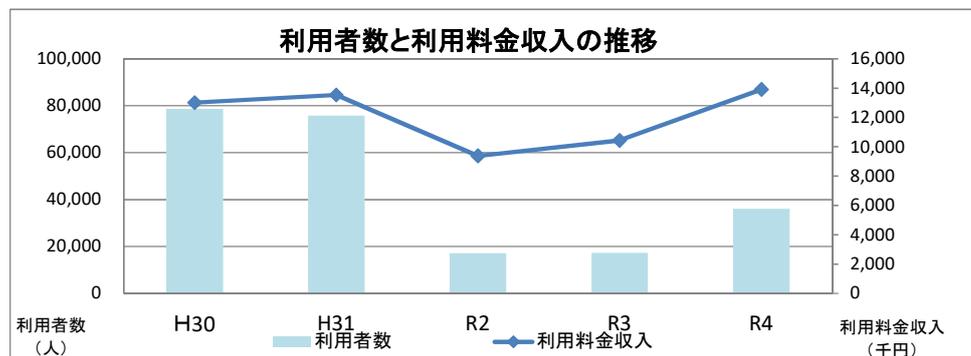
(1) 利用者数

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年間利用者数	78,649 人	75,800 人	17,151 人	17,260 人	36,079 人

(2) 収支状況

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取入 (A)	64,054 千円	65,801 千円	62,372 千円	62,867 千円	66,495 千円
委託料	49,742 千円	50,813 千円	50,659 千円	50,659 千円	50,659 千円
委託料(補正額)※	0 千円	0 千円	1,003 千円	328 千円	0 千円
利用料金収入	13,002 千円	13,539 千円	9,379 千円	10,434 千円	13,911 千円
その他収入	1,310 千円	1,449 千円	1,331 千円	1,446 千円	1,925 千円
支出 (B)	65,169 千円	65,321 千円	62,372 千円	62,867 千円	66,036 千円
事業費	5,435 千円	6,072 千円	1,558 千円	2,698 千円	4,357 千円
維持管理費	30,296 千円	28,372 千円	30,207 千円	30,423 千円	31,025 千円
人件費	19,733 千円	20,780 千円	20,184 千円	20,201 千円	20,575 千円
その他支出	9,705 千円	10,097 千円	10,423 千円	9,545 千円	10,079 千円
収(入) - 支(出)	▲ 1,115 千円	480 千円	0 千円	0 千円	459 千円

(※)新型コロナウイルスの影響等により、補正予算で増額した委託料を記載



(※2)収支状況に大きく影響を及ぼした要因があった場合、その内容

令和元年度末頃からの新型コロナウイルス流行により、公園グラウンド利用者・資料館利用者は大きく減少したが本年度後半には観光客も増え、コロナ前の半分近くに回復した。

上記の状況に連れて、駐車場利用も増え、年度末の花見でも大きく利用が増えた。また、行事・イベント等についても新型コロナウイルス流行の影響を強く受けたが後半は、ほぼ予定通りの開催ができた。

4 管理運営の評価

(1) 提供サービスや利便性の向上のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評 価
<p>新型コロナウイルス流行が収まりを見せる中、感染対策の取りやすいイベントとして「湯釜マルシェ」(キッチンカー数台を北口周辺で毎日出店させる)を新たに開催して、利用者楽しんでもらった。</p> <p>湯築城資料館開館20周年記念事業の中で、ボランティアガイド養成講座を開催し20名以上の新たなガイドを獲得し、来年度からの来館者へのサービス向上を図ることとした。</p> <p>災害時の井戸水利用を想定して水質検査を行った。</p>	<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症が縮小傾向となったため、休館することもなかった。</p> <p>その中で、自主事業として、道後公園文化祭りや湯築市、湯釜マルシェなど、感染対策を行いながらイベントを実施したことで、前年度と比べて利用者数が大きく増加することとなった。</p>	S

(2) 施設の適正な維持管理のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評 価
<p>利用者の減少している状況を見極めながら、日常点検や業者点検等で劣化の見られた園内のベンチの座面の交換や水銀灯のタイマーの点検交換を行った。また、県の整備するデジタルコンテンツ事業に合わせ、園内の周遊表示板・案内木柱の交換や再塗装を行った。昨年度整備した自動洗浄トイレのリモコン盗難に対応して、盗難防止装置をすべてのリモコンに設置した。</p>	<p>日常点検の中で建築物の不具合などを発見した際には、速やかに改善を図るように対処しており、道後公園の美観の維持に努めている。</p> <p>引き続き、保守管理・点検を行うことで、利用しやすい施設の維持につなげていただきたい。</p>	A

(3) 利用者からの評価と、意見を反映させるための取組み

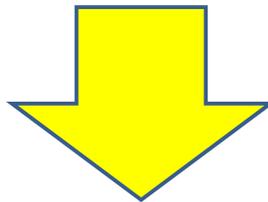
指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評 価
<p>利用者からの苦情等に対しては、できる限り即時対応するか、回答をして早急に対処した。</p> <p>来園者アンケートをネットを活用して収集している。</p> <p>○資料館の満足度 97%(満足) ○職員・ガイドの対応 97% ○園内清掃状況 95% ○樹木等の管理 96% ○トイレの数 84% ○駐車場の台数 63% ○休憩施設の数 87% ○遊具の種類 73%</p>	<p>本年度からグーグルアンケートを利用したアンケート調査を行っており、利用者からの意見の収集に努めている。</p> <p>利用者からの苦情に対しても、適切に対処しており、今後も利用者の声を生かしながら満足度向上を目指していただきたい。</p>	A

(4) 施設関連情報の発信のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評 価
<p>公園ホームページをスマホ等で閲覧しやすいものにリニューアルしたり、インスタグラムで今年度5月より情報発信を始めた。</p> <p>上記のツールを使って、歴史塾やライトアップ・湯築市・観月祭・湯釜マルシェ等のイベントのタイムリーな情報発信を行った。</p> <p>情報誌等への広告や記事の掲載への協力を行った。</p> <p>さらに、連携事業先の子規記念博物館や道後アート2023(松山市)等と連携して情報発信も行った。</p>	<p>ホームページをスマートフォンに対応したサイトへ刷新したり、インスタグラムによる情報発信を開始するなどSNSを利用した情報提供を行っている。</p> <p>さらに、子規記念博物館や愛媛大学の博物館実習の受け入れなど、他の施設とも共同で利用促進を図っている。</p>	S

【評価基準】

- S・・・仕様書等で示した基準以上の顕著な成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が特に認められるもの
- A・・・仕様書等で示した基準以上の成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が認められるもの
- B・・・仕様書等で示した基準と同程度の成果が挙げられているもの
- C・・・仕様書等で示した基準をおおむね満たしているが、一部工夫や改善を期待するもの



(5) 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

県施設所管課の総括
<p>道後公園について、史跡公園としての歴史的・文化的価値や魅力を情報発信し、自主事業として多彩なイベントを実施することで誘客につなげており、施設利用者が前年度を大きく上回った点は高く評価できる。</p> <p>また、施設保守管理業務として、日常点検の中で道後公園の美観を維持することに努めたほか、本年度からグーグルアンケートを利用して調査を行っており、積極的に利用者からの意見を生かしている。</p> <p>今後においても、公園利用者が安心できる維持管理や、道後地区の観光客の呼び込みによる利用者数の増加を期待したい。</p>